



島根県立美術館

令和6年6月28日（金）

島根県立美術館 電話：0852-55-4700

【取材・撮影についての問い合わせ】

山根・島田・三浦（広報）

新紙幣発行記念！

北斎が描いた富士と波

島根県立美術館では、コレクション展「北斎展示室」におきまして、「新紙幣発行記念！北斎が描いた富士と波」を下記のとおり開催いたします。

北斎が70歳代前半で描いた《^{ふがくさんじゅうろくけい}富嶽三十六景 ^{かながわおきなみうら}神奈川沖浪裏》（以下「浪裏」）は、日本美術を代表する作品として国際的に広く知られ、7月3日より発行される新紙幣（1,000円札）のデザインに採用されました。これを記念し、北斎が生涯を通じて描いた多くの富士の姿、波や水の表現を特集展示します。

「浪裏」を含む《富嶽三十六景》はもちろんのこと、北斎が描いた最初期の希少な富士図《^{うのかたさんそうどう}東都方角卯之方三市堂之図》、「浪裏」の大波表現の原型とされる『柳の絲』、北斎富士図の集大成『^{ふがくひゃくけい}富嶽百景』などを一堂に展示します。

北斎が「浪裏」の表現に到達するまでの軌跡を、どうぞご堪能ください。



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
島根県立美術館蔵（永田コレクション）



出典：政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/article/202406/entry-6075.html>

記

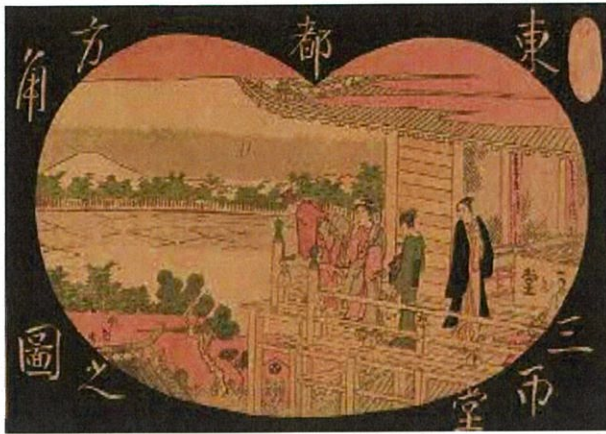
特集展示：「新紙幣発行記念！北斎が描いた富士と波」

会 期：2024年7月3日（水）～8月5日（月）

会 場：島根県立美術館2階「北斎展示室」

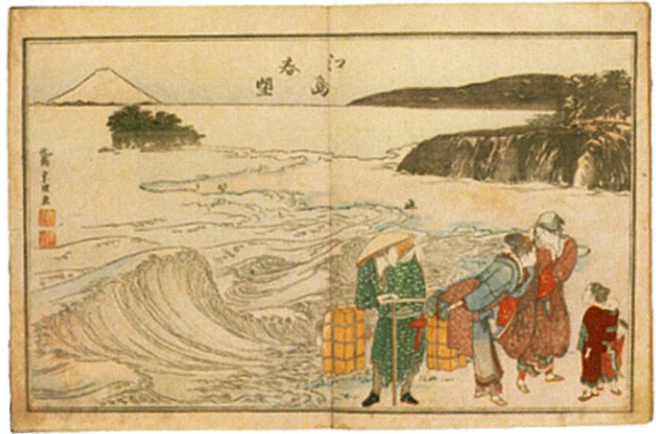
観 覧 料：一般 300円 大学生 200円 小中高生無料

出 品 作：北斎が描いた「富士山」や「波」を描いた約40点を展示



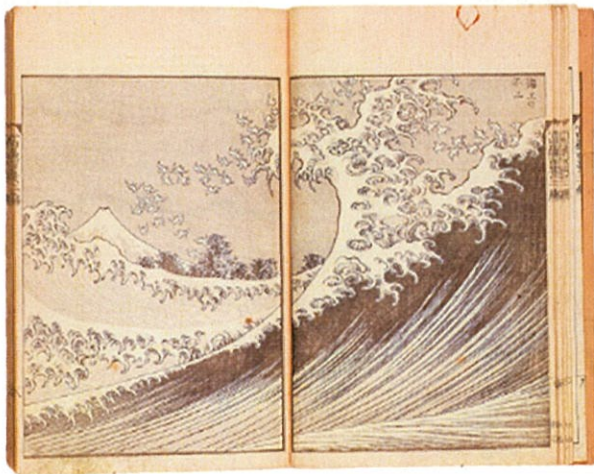
葛飾北斎《東都方角 卯之方 三市堂之図》
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

北斎が20代の頃に描いた名所絵で、北斎が描いた最初期の富士図です。版画の作品ですが、現存が1点しか確認されていない貴重な作品です。



葛飾北斎『柳の絲』（江島春望）
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

北斎が30代後半頃に描いた狂歌本の挿絵です。立ち上がる波の裏側が描かれており、70代前半に描かれた「浪裏」に通じる表現として著名な作品です。



葛飾北斎『富嶽百景』（海上ノ不二）
島根県立美術館蔵（永田コレクション）

《富嶽三十六景》の後、北斎が富士図の集大成として発表した作品。全三巻に102図が描かれていますが、本展出品作は稀少な初摺（初版）本です。

【他の出品作】

- 《阿蘭陀画鏡 江戸八景 日本橋》
- 《東海道名所一覽》
- 《鎌倉勝景図巻》
- 《富嶽三十六景 御厩川岸方両国橋夕陽見》
- 《春興五十三駄之内 沼津》
- 『みやことり』
- 『絵本隅田川 兩岸一覽』
- 『画本狂歌 山満多山』
- 『北斎漫画 二編（寄浪 引浪）』など

プレゼント企画

また新紙幣発行を記念して
7月3日(水)～7月8日(月)までの期間
本展をご観覧の方へ浪裏クリアファイルを
各日先着20名様へプレゼント！
(お一人様1枚限り)



民間の配信サービスを利用し、情報発信する予定です。

以上